

| | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------|---------------------|-------|----|
| 科 目 名 | 地学概論 2 | | | | |
| 配 当 学 年 | 2 年 | 必修・選択 | 選択 | CAP制 | 対象 |
| 授 業 の 種 類 | 講義 | 単 位 数 | 2 単 位 | 授業回数 | 15 |
| 授 業 担 当 者 | 宮嶋 衛次 | | 単位認定責任者 | 宮嶋 衛次 | |
| 実務経験の有無 | 無 | | | | |
| 実務経験のある 教員名および授 業の関連内容 | | | | | |
| 授業科目の概要 | 我々が暮らすこの地球は固体地球と水圏、気圏からなっており、その意味において、地球科学は広い領域で多岐の分野に及んでいる。本授業では、地学概論 I に続き固体地球の領域である火山活動と災害をはじめ、気圏、水圏、さらには太陽系・恒星・銀河のシステムについて学んでいく。 | | | | |
| 授 業 科 目 の 到 達 目 標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 火山活動と災害について、自然と人間生活の関わり観点から説明することができる。 2. 日本の気象について、地理的な観点から説明することができる。 3. 地球の温暖化について、科学的・社会的に考察し記述することができる。 4. 天体の運動について、天動説的な視点と地動説的な視点とを対比して説明できる。 5. 太陽系の天体について、文献などを調べてプレゼンテーションすることができる。 6. 恒星と宇宙の進化について、時間的空間的な変化を説明することができる。 | | | | |
| 学修成果評価項目(%)および評価方法 | 項目 | 割合 | 評価方法 | | |
| | 基礎学力 | 20 % | 小テスト | | |
| | 専門知識 | 25 % | 小テスト、レポート、プレゼンテーション | | |
| | 倫理観 | 5 % | レポート | | |
| | 主体性 | 10 % | レポート、取組状況等 | | |
| | 論理性 | 15 % | 小テスト | | |
| | 国際感覚 | 5 % | レポート | | |
| | 協調性 | 5 % | プレゼンテーション | | |
| | 創造力 | 5 % | プレゼンテーション | | |
| 責任感 | 10 % | プレゼンテーション、取組状況等 | | | |
| 授業の展開 | | | | | |
| 1. | 授業の内容、進め方と評価方法についての説明 | | | | |
| 2. | 火山活動と噴出物 | | | | |
| 3. | 火山災害と防災 | | | | |
| 4. | 地球大気の層構造と大循環 | | | | |
| 5. | 雲の発生と上昇気流 | | | | |
| 6. | 日本の気象と災害 | | | | |
| 7. | 海洋と海水の運動 | | | | |
| 8. | 大気と海洋の相互作用 | | | | |
| 9. | 太陽と月の日周運動と満ち欠け | | | | |
| 10. | 太陽系の天体と特徴 (プレゼンテーション) | | | | |
| 11. | 太陽の構造と活動 | | | | |
| 12. | 惑星の運動とケプラーの法則 | | | | |
| 13. | 恒星の性質と進化 | | | | |
| 14. | 宇宙の進化とビッグバン | | | | |

| | | | | | | |
|------------------------|---|-----|---------|---------|--------------|-------|
| 15. | 北海道の雪氷と温泉の科学 | | | | | |
| 授業外学修について | <p>(予習) 事前に授業で使用する資料を配付するので、疑問点や重要語句を調べておくこと。 (復習) 興味を持った内容について、文献や Web ページを調べ、授業に追加される内容を振り返りに記入すること。いて、文献にあたって調べ、レポートにまとめる。 (プレゼンテーション) 太陽系の天体について、グループや個人で調べたことをもとにプレゼンテーションを行う。 (レポート) 地球温暖化について、文献等にあたりレポートを作成する。</p> | | | | | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | | | | | |
| 参考文献 | 視覚でとらえるフォトサイエンス地学図録 (数研出版) | | | | | |
| 試験等の実施 | 定期試験 | 再試験 | その他のテスト | 課題・レポート | 発表・プレゼンテーション | 取組状況等 |
| | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 成績評価の割合 | 0 % | | 50 % | 20 % | 20 % | 10 % |
| 成績評価の基準 | <p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69点~60点)、不可 (59点~0点)</p> | | | | | |
| 試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項 | <p>【小テスト】 毎回の授業の最後に示す小テストの問題について、ポータルの振り返りに答えを記入する。</p> <p>【レポート】 地球の温暖化について、レポートを課す。評価は事前に示すルーブリックを用いて行う。</p> <p>【プレゼンテーション】 太陽系の天体について、グループや個人でプレゼンテーションを行う。</p> <p>【取組状況等】 授業内容について調べたことをポータルに基縫うする。記入された内容や回数により取組状況を評価する。</p> <p>地学概論 1 と地学概論 2 を合わせて地学の全領域を学ぶことになるので、連続して履修することが望ましい。</p> | | | | | |

(地学概論 2)